

クロックアップ・サイリックス第5回公演上演台本

# 音信不通

作・演出 川原 武浩

登場人物

主人・段平  
赤犬・ジヨ

犬人

女主人・葉子  
黒犬・ホセ  
黒犬・メンドーサ

中島  
長岡

森久

濱崎  
重松  
上瀧

信和  
暢陵

智江

留衣  
輝紀  
昭吾

夜更けの公園。

一匹の赤犬と、一人の男。

男（＝主人）、突然に足下の犬を足蹴にする。

主人 この、負け犬があっつつつつ！！

赤犬 キャン！！

赤犬、後ずさり。

主人、その犬に詰め寄り・・・

主人 おい。

赤犬 わん。

赤犬、反射的にお手。

主人 誰にでも尻尾振りやがって。なんだその媚びた態度は。なんだその甘えた目つきは。貴様それでも闘犬かつつ！！

主人、赤犬の前足をひねり上げる。

赤犬、降参のポーズ。

主人 なんだそりゃ。もう降参か。ギブアップか。腹見せてごめんなさいか。

主人、赤犬にギロチンチョーク。

赤犬 （苦しがる）ケン、ケン、

主人、赤犬にストンピング。

主人 立て、立て、立て、立つんだジョー！！

赤犬、立ち上がる。

主人 立った、立った、クララが、もとい、ジョーが立ったく

赤犬 これで満足か。（寝る）

主人 このクソ犬が、負け犬が、ボケ犬が、雑種の駄犬が！！

赤犬、主人の足をとってドラゴンスクリュー。

赤犬、立ち上がり主人にストンピング。

赤犬 黙ってきいてりやこの野郎。お前の調教が悪いから弱いんだよ、俺は。この、クソ主人が、負け主人が、ボケ主人が、駄目人間がつつ！！

主人、犬の足をとってドラゴンスクリュー。  
主人、マウントポジションからパンチの連打。

主人 この野郎、よくもご主人様に向かって手を、いや右後ろ足を上げやがったな。許さん、許さんぞ、このクソ犬が、負け犬が、ボケ犬が、雑種の駄犬が！！

主人、赤犬の上体を引き起こし、チョークスリーパー。

主人 死ぬ、死んで詫びろ。戦いはオールオアナッシング、ウイナーテイクスイットオールだ。勝者には全てを、敗者には死を。三人乗り自転車で敗走する悪役にはお仕置きを！！ くらえ、今週のビックリドッキリメカ。撲殺マシン、叩く君マーク2。ポチつとな。パカ。ボク、サツ、ボク、サツ、ボク、サツ、ボク、サツ、ボク、サツ……

赤犬 (嘔む) がぶ。  
主人 痛てええええ！！

主人、振りほどこうと噛まれた手を振り回す。

赤犬、振りほどかれ、転がりながら壁に激突。

赤犬、それでもファイティングポーズ。

主人 サーノバビイッチ！！ おのれ、飼い犬に手を噛まれるとはまさにこのこと。こい、かかってこい、この犬畜生が。突然ですが、ここでお料理豆知識、おしい犬の見分け方。まず毛の色は赤、黒、白の順。毛並みが良く、肉に締まりのある犬を選びましょう。鼻がかわいていたり、目やにが出ていたり、また目の色に濁りのあるものは寄生虫などの危険があるので避けた方が賢明です。えー、お葉書いただいております。「ところで赤犬って何よ。そんな犬見たこと無いわよ」そうなんですよ、ペンネーム早良区の団地妻さん28歳。そんなサイケな犬、アフロ犬ぐらいしか見たことありませんよねえ、それでは犬のことならこの人に。滝沢馬琴先生にお越しいただきました。えー、実は赤犬の赤って茶色のことなんです。同じように、赤毛のアンの赤毛は茶色い毛であって、ロンブーの片割れの頭のような色ではありませんし、赤ひげ先生のひげも茶色い髭であって、ロンブーの片割れの頭のような色ではありません。会津の民芸品赤べこ、えーと首がこなんなん(上下にぶらぶら)なるやつですが、赤べこの赤は茶色ではなくて本当に赤です。先生、聞いてもいない余計なことまでありがとうございました。  
……居る、それなら辺り一面に居る。のべつまくなしに居る。窓の外を今まさに歩いている。良かった。赤犬が茶色の犬のことで本当に良かった。二番目に

美味しいという黒は、なんといっても強そうだ。ドーベルマンだ。ケルベロスだ、ボクサーだ。そんな危ない黒より、美味しい上にお手軽な赤犬。不景気風吹きさぶ中、一家の台所を預かる奥様も万々歳でーす！！

主人、棒きれを構える。

赤犬 (腹を見せて降参) すんませんでした。

主人 このバカ犬があつつつ！！

主人、棒きれで赤犬に殴りかかるのかと思いきや、赤犬をなで回す。  
間。

主人 ああ、くそ、可愛い。馬鹿な犬ほど可愛い。この醜く弛んだ腹、だらしのない口元、お世辞にも愛らしいとはいいかねる顔、お手以外に芸を覚えなない頭の悪さ、しかもお手すら2回に1回しかしないその怠惰さ、毛並がいいわけでもなく、血筋がいいわけでもなく、すべてにおいて駄目駄目な雑種の駄犬。ああ、くそ、可愛い。駄目な犬ほど可愛い。よしよしよし、ムツゴロウさんだよ。よしよしよし、ムツゴロ(突然) 隙ありつつ！！！！

主人、棒でいきなり殴りかかる。

赤犬、間一髪身を翻す。

赤犬 てめえコラ、なにしやがんだ。危ねえじゃねえか。

主人 ああ、可愛い。殺しちゃいたいほど可愛い。くらえコラア！！

主人、棒を振り回す。

赤犬、すばやく身をかかわす。

主人 逃げ足だけは一流だな。

赤犬 違うな。

主人 なんだと？

赤犬 俺の逃げ足は「超」一流だ。

主人 そんなだから勝てねえんだよ。

赤犬 あ？

主人 逃げるだけじゃ勝てねえんだよ。逃げて逃げて逃げて逃げて、時間切れ引き分け。逃げて逃げて逃げて逃げて、判定負け。なんだそりゃあ。高田延彦かてめえ。

赤犬 俺の座右の銘を聞け。ひとーつ、「他力本願」。ふたーつ、「柵からぼたもち」。

ラストー、「三十六計逃げるにしかず」。

主人 意味言ってみろ。

赤犬 さらばだ。

赤犬、逃げる。

主人

あ、待て、待ちやがれ。こら！！

主人、赤犬を追う。

赤犬

いいか、俺はただ逃げてるんじゃない。

主人

なんだあ？

赤犬

尻尾を巻いて逃げてるんだ。

主人

・・・殺す。絶対に殺す。母さん、今夜は犬鍋だぞ！

赤犬

味ポン買って待っててくれ。

主人

ネギと白菜も忘れずに！！

赤犬

豆腐と白滝2人前。

主人

中村珠緒にマロニー配達させとけ。

主人、赤犬に飛びかかる。

赤犬、それをかわして再ダツシユ。

赤犬、去る。

しばしの間。

杭に結ばれていたヒモがピンと張る。

主人

ふはははは、（紐をジリジリと引く）オーエス、オーエス、オーエス！！

ヒモに引かれて、赤犬が再登場。

どうやらヒモの先は首輪につながっているらしい。

赤犬

オエツ、オエツ、オエツ！！

主人

オーエス（引く）

赤犬

オエツ！！

主人

オーエス（引く）

赤犬

オエツ！！

主人

オーエス（引く）

赤犬

オエツ！！ てめえコラ、殺す気か。

主人

殺さなきゃ食えねえだろうが。それとも活き作りにでもされたいか。

赤犬

またまたご冗談を。

主人

オーエス（引く）

赤犬

オエツ！！

赤犬、じりじりと主人のところへ引き寄せられる。

主人、ただならぬ殺気。

赤犬 うわ、ごめんなさい、すんませんでしたー、犬食反対く！！ 神様仏様稲尾様、FIFAのプッター会長、助けてく。

赤犬、ついに主人の間近まで引き寄せられる。

主人 死にたくないか。

(媚びて)わん。

主人 まだ生きてたいか。

(大いに媚びて)わん。

赤犬 お座り。

赤犬、素早くお座り。

主人 お手。

赤犬、素早くお手。

主人 おかわり。

赤犬、人間のおかわり。

主人 伏せ。

赤犬、伏せる。

主人 あきら。

赤犬、布施あきら。

主人 博。

赤犬、布施博。

主人 あきら。

赤犬、布施あきら。

主人 博。

赤犬、布施博。

主人 博。

赤犬、布施あきら。

主人 あきら。

赤犬、布施博。

赤犬 ……？

主人 この、馬鹿犬があつつつ！！！！

主人の手の棒が、赤犬の頭めがけて振り下ろされる。

暗転。

闇の中からキャインと、犬の悲鳴。



地面に転がる赤犬。

そのかたわらに立つ、一人の女。

その手には、一本の紐。

犬 人

夜の国道で、死んだ犬をみてた。犬の中にも賢いやつとそうでないやつがいて、そうでないやつはだいたいこうなる。まず、横断歩道を渡らないやつがこうなる。次に信号の意味がわからないやつがこうなる。青で横断歩道を渡っても、運悪くこうなるやつもいる。

好奇心は猫を殺す。独立心は犬を殺す。犬は犬だから犬。飼い慣らされた狼が犬。だから独立した犬なんてのはあり得ない。それは犬じゃなくて狼。さもなくば野良犬。ちよつとワイルドに言うときと野犬。以下、死んだ野良犬を火葬場に持ち込んだときの会話。「ねえ、おじさん、この野良犬焼いて」「うーん、野犬やけん焼けん」以上、九州地方限定の言葉遊び。続いて、馬鹿な犬を公園デビューさせようとした時の会話。「ねえ、おじさん、このバカ犬抱いて」「うーん、駄犬だけん抱けん」以上、かなり無理のある九州地方限定の言葉遊び。

頭の中で繰り返す、取り留めもない思考。いわゆる垂れ流し。どうしてこんなことをしているのだろうかと思いついてみても、よく思い出せない。多分、時間をつぶしていたんだと思う。半端じゃなく誰かを待っていたような気もするけれど、あんまり待ちすぎてわからなくなった。それどころか、ひよつとして誰かが私を待っているような気さえして、どうにも落ち着かない。

そもそもこれ（紐）は何。なんとなく手持ち無沙汰。無沙汰？ ブタサ？ 手持ちブタサ？ 手持ち無沙汰。正しいのはどっち？ どことなく片手落ち。これ放送禁止用語。片手のない人のことは隻手といきましょう。というわけで途中からやり直し。手持ちブタサ？ 手持ち無沙汰。正しいのはどっち？ どことなく隻手。なんとなくクリスタル。否応なくリサイタル、それはジャイアン。際限なくリサイクル、それはブックオフ。ブックオフ。ブックオフ。何か心のどこかに引つかかる言葉。それはこれ（紐）と関係あるの？ ブックオフと紐。それはどういうこと？ つまりはこういうこと？ 読み終わった本を、縛って、持っていて、ほどこいて、売って、また買って、縛って、持っていて、縛って、読んで、読み終わった本を、縛って、持っていて、ほどこいて、売って、また買って。これは何。無限連鎖？ それとも永久機関？ 終わり無き旅？ そうでなければ（鞭のようにつかって）こういうモノ？ （手品）それともこういうモノ？ （新体操）よしんばこういうモノ？

赤犬、飛び起きる。

赤犬 人

うるせえ！！  
あ、生きかえった。

赤犬 死んでない。だから生きかえってもない。  
犬人 轆かれたんじゃないの？

赤犬 こんなところで、何に轆かれるってんだ。ガキの三輪車か？ クソガキのスケボーか？

犬人 こんなところって、ここ・・・

赤犬 公園だろ。

犬人 公園？

赤犬 そ、公園。英語で言うところのパーク。

犬人 公道じゃなくて？

赤犬 (うなづく)

犬人 国道でもなくて？

赤犬 (深くうなづく)

犬人 いったいいつの間に？ いつの間にここは公園に変わったの？

赤犬 変わってねえよ。元から公園だよ。

犬人 公道じゃなくて、国道でもなくて？

赤犬 公園・・・しつこいね。

犬人 だって、犬が死んでるんだよ？

赤犬 だから死んでないって。

犬人 さっきまで死んでたもん。

赤犬 ダウンしてたんだよ。

犬人 ダウン？

赤犬 寝てたの。まあ、つきつめれば寝てるのも死んでるのも、あんまり変わらな

いかもしれないけどさ。

犬人 犬が死んでるところは国道でしょう？

赤犬 決めつけるなよ。死ぬときやどこでも死ぬよ、国道でも県道でも遊歩道でも。

犬人 っていうか、道で死ぬって決めるな。いや、それ以前に俺を死んだことにするな。

犬人 ねえ。

赤犬 なんだよ。

犬人 いつから死んでたの？

赤犬 お前、人の話聞いてたか？

犬人 うん。で、いつから死んでたの？

赤犬 えーと。

犬人 どれぐらい死んでたの？

赤犬 えーと。

犬人 どうして死んでたの？

赤犬 えーと。(反論する気力がなくなった) はい、死んでました。いつからか、  
どれぐらいか、わけあって死んでました。じゃ、そういうことで。

赤犬、その場を離れようとする。

犬 人 また死ぬの？ 今度はどこで死ぬの？  
赤 犬 死ぬ死ぬ言うな、縁起でもない。あー、もう、シツシツ！！

赤犬、犬人を追い払う。  
犬人、しつこくつきまとい・・・

ねえ。

(威嚇) フー~~~~ツツ！！

(威嚇しかえす) シャ~~~~ツツ！！

すんませんでした。

犬 人  
赤 犬  
赤 犬

赤犬、思わず降参。

赤犬、我に返り慌てて起きあがる。

ねえねえねえ。

(抵抗をあきらめた) なんだよ。

ねえ、これ(紐)なんだと思う。

ヒモ。

なんのヒモだと思う？

知らねえよ。お前のヒモだろ。

人のことをお前お前言うな。

じゃあ、名前は？

なんだと思う？

なんだ、それは。クイズか。なぞなぞか。だったら降参、降参です。わかりませーん！！

犬 人  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬

赤犬、全面降伏。

それでは正解です。じゃーん、名前は・・・忘れました。

お前、それを忘れたら人としておしまいなんじゃないか。

じゃあ、アキタ。

何だよ、覚えてんじゃねえか。

今決めた。

いいのか、そんなんで。

いい。

ならいいけどさ。で、なんでアキタなの。

そう呼ばれてた気がするから。

ふうん。

うそ。本当は飽きっぽいから。

それは名前じゃなくてニックネームだろ。そういうのは、普通ほかのやつが

犬 人  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬  
赤 犬

犬 人 つけるもんだろ。おまえのニックネームは自己申告制か。  
犬 人 またお前って言った。

赤 犬 はい、すみません。言いました。えーと、アキタさん。

犬 人 なんか、こそばゆい。やっぱり「お前」でいい。

赤 犬 どっちなんだよ。

犬 人 じゃあ、つけて。

赤 犬 何を。

犬 人 呼び名。

赤 犬 あのな、俺はおまえのことを知らない。おまえも俺のことを知らない。今さつきここで偶然会っただけ。というか、寝てる俺の近くでおまえがブツブツわけのわからないことつぶやいて俺を起こしただけ。それ以上のデータ、なし。そんなんで、どうやって名前なんかつけられるんだ。

犬 人 直感で。

赤 犬 無茶言うな。

犬 人 なんでもいいから。

赤 犬 無理だって。

犬 人 あと3秒以内で。3、2、1、はい。

赤 犬 ポチ。

犬 人 やだ。

赤 犬 じゃあ、シロ。

犬 人 やだ。

赤 犬 タロウ。

犬 人 やだ。

赤 犬 ジロウ。

犬 人 やだ。

赤 犬 マリリン。

犬 人 やだやだやだ。

赤 犬 ドン松五郎。

犬 人 ーやー。

赤 犬 何が気に食わないんだよ。なんでもいって言ったろ。

犬 人 犬みたいな名前ばかりじゃん。

赤 犬 しょうがねえだろ、俺犬なんだから！！ おまえな、今出したやつはどれも

犬 人 犬界では偉大な名前ばかりなんだぞ。贅沢言うな。

赤 犬 じゃあ、呼び名はまた今度。

犬 人 今度ってなんだよ。(面倒くさくなった) あーもー、うちの駄目主人、いつ

赤 犬 たいどこ行ったんだ。おーい、段平！！

赤 犬、せわしなく紐の繋がれた杭の周囲を移動。

犬 人、そのあとをついてきて・・・

犬 段平く！！

赤犬 いいから。手伝わなくていいから。もう俺につきまとうな。おーい、段平く

どこ行ったり。帰ってこーい、段平。腹減った。なんか食わせろ。段平、コラア、段平、  
帰ってこないとおまえの恥ずかしい秘密をバラすぞ。いいの、いいんだな、段平く！！

犬 段平っていうんだ、あんたのご主人。

赤犬 ご主人なんてそんな大層なもんじゃねえよ、あの〇〇オヤジ。

犬 段平の秘密って？

赤犬 それがさ、あの〇〇オヤジときたら・・・って、ついてくるなー！ もう、  
なんで俺に話しかけるんだ。

犬 時間つぶし。

赤犬 何の。

犬 なんかの。

犬 犬、ふと視線を外して・・・

犬 人 あんたのご主人？

と、そこに現れたのは一人の女。

女主人 おいで！ ホセ！ メンドーサ！！

二匹の黒犬（ホセとメンドーサ）、飛び出してくる。

ホセ ワン！

メンド ツー！

ホセとメンドーサ、女主人の足下にスタンバイ。

女主人、赤犬を一瞥して・・・

女主人 かかれ！ ホセ！ メンドーサ！！

ホセ ワン！

メンド ツー！

ホセとメンドーサ、ガラの悪い感じで赤犬に絡む。

ホセ おこんばんわ。

赤犬 なんだ、お前ら。

メンド なんだ、お前らだってよ、ヒーッヒッヒッヒ。聞いたか兄さん。

ホセ 聞いたぜ、弟。ろくに挨拶もできねえ駄犬がいるぜ。ヒーッヒッヒッヒ。

赤犬 （犬人に）・・・おまえ、離れてろ。とかっこよく決めたつもりがもういない

じゃんく。

犬人、とつくの昔にセーフティゾーンに退避。

メンド 気にくわねえな、兄さん。

ホセ そうだな、弟。

メンド やっちまうか、兄さん。

ホセ やっちまおうぜ、弟。

メンド おい、お前。

赤犬、メンドーサの方を向く。

反対側からホセが攻撃。

ホセ ひやはははは、バーク。

赤犬 てめえコラ。

赤犬、ホセの方を向く。

反対側からメンドーサが攻撃。

メンド ひやはははは、バーク。

赤犬 てんめえコラ。

赤犬、メンドーサの方を向く。

反対側からホセが攻撃。

ホセ ひやはははは、バーク。

赤犬 て、てめえコラ。

赤犬、ホセの方を向く。

反対側からメンドーサが攻撃。

メンド ひやはははは、バーク。

赤犬 てめえこのクソ野郎どもが！！

女主人 ……うわさ以上の駄犬ね。

メンド やっちまうか、兄さん。

ホセ やっちまおうぜ、弟。

メンド 食らえ、ツープラトン。

ホセ ワン！

メンド ツー！！

ホセ ワン！

メンド ツー！！  
ホ・メ (準備運動) ワンツーさんしーごーろつくしちはち。  
ホセ ワン！！  
メンド ツー！！  
ホ・メ パーパンチ！！

ホセ・メンドーサ、見事なワンツーパンチ。

赤犬、顔を斜めにしたまま・・・

赤犬 (顔を戻しながら) んく、蚊でも止まったかな？  
ホセ 何？  
メンド なんだと？  
赤犬 そんなヘナチヨコパンチの一発や二発。そんなもんでやられる俺様ではな  
いっつつつ！！！！ (よろける)

赤犬、足にきている。

赤犬 違う、これは違うぞ。ちょっと雄たけびを上げたせいで、酸素が足りなくな  
って、脳貧血起こしたただけであって、おまえらのパンチが効いたということだ  
は決してない。

赤犬、方膝をつく。

赤犬 おろ。  
女主人 ……弱い。

赤犬、仰向けに倒れる。

赤犬 おのれ、卑怯な。突然巨大化するとはどういうことだ。  
メンド 兄さん、こいつ馬鹿だよ。  
ホセ どうもそのようだな、弟。  
メンド 離れようよ、兄さん、馬鹿がうつるよ。  
ホセ そうだな、風上に移動しよう。

ホセ・メンドーサ、風上に移動。

女主人 (ダウンカウント) 1・2・3・4・5

主人、物陰から現われる。

主人　　こら、立て、立つんだ、ジョー！！

赤犬　　ああ、馬鹿主人の声が聞こえる。いいよなあいつは。俺が倒れたら立て立て  
言ってるだけでいいんだから。自分が殴られるわけじゃねえもんな。

女主人　（スロー）スイツクスウウウ

主人　　ジョイウウウウ！！

赤犬　　眠い。かあちゃん、電気消してくれ。まぶしいんだよ。

女主人　スウェブンンン、エイトオオオ

主人　　トオワテエ、トワツンドウア、ジョイウウウ！！

赤犬　　あ、おじいちゃん。おじいちゃんがお花畑の向こうでおいでおいでしてる  
よ。おじいちゃん。（転がったままスキップ）あはははっ、あはははっ！！

女主人　ヌウアイインン！！

主人　　ジョイウウウ、マイルオ、オムウアエノドウアイスキナ○○だぞう

赤犬、高速で起き上がる。

赤犬　　おお、○○だ。素晴らしい、なんてこった。はっ、お花畑は？　おじいちゃん  
んは？

主人　　目を覚ませ、ジョー！！

主人、思いっきり赤犬にパンチ。

赤犬　　キャイン。ってコラ何しやがんだ、この○○主人！！

赤犬、パンチキックの乱れうち。

主人、見事なフットワークでそれをすべてよけきる。

主人　　この、馬鹿犬が、クソ犬が、雑種の駄犬があっつっ！！

主人、パンチキックの乱れうち。

赤犬、見事なフットワークでそれに全て当たりきる。

赤犬　　キャイン。

赤犬、くるくる回転しながらダウン。

赤犬　（腹をみせて）降参く降参です。すみませんでした。

女主人　弱すぎる。

主人　　お恥ずかしい。

女主人　あれでほんとに闘犬なの？

主人　　いや、まあ、一応。



女主人　なに、あの弛んだ腹。だらしのない口元。すぐにギブアップする根性のなさ。

主人　おっしゃるとおり。

女主人　まさか本当にこの犬じゃないでしょうね。

主人　そのまさかで。

女主人　こんな犬連れてるようじゃ、闘犬界への復帰なんて夢の夢ね。かつては闘犬界一の名トレーナーと呼ばれたあなたが・・・落ちぶれたもんね。

主人　へへへ。

赤犬　名トレーナー？　誰が？　こいつ？

主人　おまえは黙って腹でも見せてろ。

赤犬　はい、腹ですよー。腹あいかがつすかあー。

赤犬、腹を見せびらかす。

女主人　とりあえずはホセとメンドーサで力試しをさせてもらったけど・・・話にならないわね。なつてない。端にも棒にもかからない。悪いけど、断らせてもらうわ。

主人　そこをなんとかか。

女主人　ならない。

主人　この通りだ。

女主人　どうしてこんな駄犬にこだわるの。向いてない。才能がないのよ。

主人　だが逃げ足だけは一流だ。

赤犬　超一流だ。

主人　うるせえ、黙ってろ！！

赤犬　（超一流の逃げ足で撤退）おお怖ええ。

主人　たしかにあいつは駄犬かもしれない。いや、間違いなく駄犬だ。俺が保証する。（赤犬の方に向き直って）ジョー、お前は何の才能もとれない駄目駄目な駄犬だ！！

赤犬　おまえ、自分の犬に向かってさんざんな言い草だな。

主人　だが、お前には逃げ足という武器がある。お前の逃げ足なら、世界を目指せる。ジョーよ、俺と一緒に世界を目指さねえか。

女主人　あなたのやってることは、同じ馬だからってだけで、シマウマに競馬をさせるようなもんよ。同じ犬でも闘犬になれる犬と、そうでない犬がいる。闘犬に向いてない犬にそれを目指させるのは、犬にとっても、トレーナーにとっても不幸なことよ。

主人　そんなことは百も承知だ。なあ、頼む。俺とこいつを男にしてくれ。

赤犬　なあ、さつきから何頼んでんだ。

主人　預けるんだよ、お前を。

赤犬　預けるって、こいつに？

主人　そうだ。

赤犬 そうか、(女主人に)じゃあ、ひとつよろしく。  
主人 行ってくれるのか。

赤犬 ああ、これでお前とおさらばだ。せいせいすらあ。喜んで行かせてもら  
わ。

主人 しっかりがんばってこいよ。そして、大きくなって戻って来い。

赤犬 いや、戻りたくねえ。

女主人 ちよつと、誰もまだ引き受けるなんていってないでしょ。

主人、突然土下座して・・・

主人 このとおりだ。

女主人、土下座の主人を踏みつけにして・・・

女主人 そんな安い頭下げられてもねえ。

主人 (卑屈に)へへ・・・頼むよ、お嬢さん。

赤犬 あ、おい、なんだ、その卑屈な態度は。段平!

主人 (さらに卑屈に)なあ、頼むよ、落ちぶれたこの哀れな乞食トレーナーの一生  
に一度の頼みだ。こいつを預かってくれ。預かってくれよう。なあ、お嬢さん  
よう。

赤犬 なあ、ところで、預けて、それでどうすんだ。俺は「新しい主人のもとで幸  
せに暮らしました」めでたしめでたしなのか?

主人 預けて、鍛え上げてもらうのさ、立派な闘犬に。

赤犬 なんだそりゃ。断る。断るぞ。キャンセル、キャンセル、今のなし。

女主人 だからこつちも引き受けないって言ってるでしょ。

赤犬 それはそれでさびしいな。なんだ、俺は。宙ぶらりんか。お荷物か。不良債  
権か。

メンド ヒーッヒッヒッヒ、不良債権だつてよ、兄さん。

ホセ ヒーッヒッヒッヒ、そりゃあ破綻処理しなきゃいかんな弟。

赤犬 あ、てめえら、さつきはよくも。

ホセ 風上に立つなー! 馬鹿が移るだろう。

ホセ、メンドーサ、赤犬のさらに風上に立つ。

赤犬 んだと、コラ。

赤犬、さらにその風上に立つ。

ホセ、メンドーサ、赤犬のさらに風上に。

三匹、風上を取り合いながら移動していく。

三匹、退場。

三匹、再入場。

赤犬 畜生、風向きが変わりやがった。

ホセ 立つなよ、俺の風上に立つなっつてんだ。

赤犬 (メンドーサを掴んで入れ替わる) うるせえ、この野郎！

メンドー 触んじやねえよ、ぶっ殺すぞコラア。

赤犬 上等だやってみろコラア。

三匹、一触即発。

女主人 ホセ！ メンドーサ！！

ホセ、メンドーサ、翻って女主人の足下に待機。

赤犬 なんだ、怖じ気づいたのか。まったく従順な飼い犬だなあ、おい。

主人 ジョー！

赤犬 (挑発) こい、かかってこいよ。やーい、やーい、雌犬の息子、英語で言うならサノバビッチ。

主人 やめねえか、ジョー！！

赤犬 この黒犬が、黒犬が、黒犬があっ！！ ショーケースの中のトランペットでも買ってやろうか、ブラザー、あ？

主人 やめろっつて言っつてんだ、ジョー！！ お前のかなう相手じゃねえ。

赤犬 お前はすっこんでろ。

赤犬、主人を突き飛ばす。

女主人 やれやれ。弱い犬ほどよく吠えるとはよく言ったもんね。

赤犬 なんだと。

女主人 違うの？

赤犬 俺は女だからっつて容赦しねえぞ。

赤犬、女主人に詰め寄る。

素早くホセとメンドーサが中を割る。

ホセ おうおう、お嬢さんになにしやがんでえ。

メンドー 前足の指一本でも触れたらただじゃおかねえぞ。

赤犬 どけよ、チンピラ。

ホセ お断りだ、三下。

メンドー そうだ、このドサンピンが。

赤犬 ふざけんじやねえぞ、このパシリが。おら、カレーパン、カレー抜きで買っ

てきやがれ。

メンド  
ほらよ、パンだ。

メンドーサ、赤犬に軽くパンチ。

ホセ  
赤犬  
パンだけじゃ足りねえだろ、ほらよ、ジャムジャム、ストレート。  
喰いたりねえなあ。それぐらいなら朝飯前だぜ、と。

赤犬、ホセとメンドーサにストレートを一発つつ決める。

ホセ  
ううん。今のは何かな、パンチか、弟？

メンド  
まさか。健康マツサージだろ、兄さん。

ホセ  
なるほど、ううん、元気が湧いてきた。指圧の心は母心。

メンド  
押せば命の泉湧く。

ホ・メ  
はあ、ワクワク。

赤犬  
む、俺のスペシャルパンチが。

メンド  
聞いたかい、兄さん。スペシャルパンチだってよ。

ホセ  
せいぜい平凡パンチってとこだな、弟。

メンド  
平凡パンチどころか、モンキーパンチだね、兄さん。

ホ・メ  
ヒーツヒツヒツヒツ。ルパンザサー(ド)。

ホセ  
パンチ佐藤だな。

メンド  
パンチヨ伊藤だね。

ホ・メ  
ヒーツヒツヒツヒツ。メジャーリーグ速報く。

赤犬  
ち、畜生、くらえ必殺パンチ！！

赤犬、両手をグルグル振り回しながら突進。

ホセ、メンドーサ、あまりの勢いに一瞬ひるむが・・・

ホセ  
なにが必殺パンチだ。ロボコンパンチじゃねえか。

女主人  
ホセ、メンドーサ、下がってなさい。

ホセ  
お嬢さん。

女主人  
下がりなさい。

ホセ  
へえ。

女主人  
メンドーサ！

メンド  
へえ。

赤犬  
食らえ、必殺パーンチ！！

女主人、必殺パンチをかいくぐり強烈なアッパー。

赤犬  
キャイン！！

赤犬、宇宙飛行の後、ダウン。

主人 お、おお、そのパンチは。

ホセ ジェットアツパー。

メンド 漫画が違うけど。

赤犬 (腹をみせて) ごめんなさーい、ごめんなさーい、降参です。

女主人、赤犬を無理やり立たせて、強烈な連続パンチ。

赤犬、阿波踊りの後、ダウン。

主人 お、おお、そのパンチは。

ホセ スペシャルローリングサンダー。

メンド やっぱり漫画が違うけど。

赤犬 (腹をみせて) ごめんなさーい、ごめんなさーい、降参です。

女主人 降参なし。

赤犬 降参、降参。

女主人 降参なし。

赤犬 段平、助けてくれ、殺される。

段平 立て、立つんだ、ジョー。

赤犬 またそのセリフかよ。いつも気楽に立て立ていいやがって。殴られんのは

こっちなんだぞ。

段平 頑張れ、ジョー。

赤犬 頑張れねえよ。

女主人 ホセ！ メンドーサ！

ホセ、メンドーサ、赤犬を無理やり立たせて・・・。

赤犬 わーっ！ わーっっ！！ 死ぬ死ぬ殺される。

女主人 せめて苦しまないように一発で決めてあげるわ。

赤犬 段平く！！

主人 南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏・・・

女主人 高嶺竜二くん直伝、ブーメランスクエアー！！

女主人、ボディに一発。

赤犬、女主人の打ち込んだこぶしを中心に一回転。

赤犬 キヤイイイイン。

赤犬、へたり込む。

主人  
ジョー！！

赤犬、崩れるようにダウン。

女主人  
おわりね。

主人  
立て、立て、立つんだジョー！！

女主人  
帰るわよ、ホセ、メンドーサ。

主人  
まて、待てよ、まだ終わっちゃいねえぞ。まだ終わっちゃいねえんだ、なあ、

そうだろう、ジョー、ジョーよう。

女主人  
無駄よ。あきらめるのね。

主人  
立て、立つんだ、ほら、おまえの好きな○○だぞ！

赤犬、無反応。

主人  
ジョー、ジョーよう。

女主人  
あきらめるのね。

主人  
まだだ。まだやれるんだ。

女主人  
あなたもみてたでしょう。パンチは弱い、ディフェンスはなっちゃいない。

闘犬どころか番犬としても役に立たないレベルよ。いったい今まで何を教えて

きたのか、聞きたいぐらいだわ。

何も教えちゃいねえ。

何も？

主人  
ああ、そうさ。何も教えちゃいねえ。

赤犬  
・・・そうなんだよ、何も教えちゃくれねえんだ。

赤犬、ふらふらと立ち上がる。

主人  
ジョー！！

赤犬  
段平、痛えよ、死にそうだ。

主人  
畜生、かわいいなあ。馬鹿な犬ほどかわいい。しかしな、こうも言うだろう

「かわいい子には旅をさせろ」 行ってこい、ジョー！！

主人、赤犬を女主人に向けて放り出す。

赤犬  
段平、怨むぞ。

女主人  
悪く思わないでよね。

メンドーサ、女主人の前に割って入り、ファイティングポーズ。

突如湧き上がる歓声。

眩いばかりのカクテルライト。

スローモーション。

メンドーサの右ストレートが赤犬を襲う。

赤犬、左のクロスカウンター。

一瞬の静寂。

リングに崩れ落ちたのは・・・赤犬。

遠くから、ダウンカウントが聞こえる。

赤犬だけを残し、暗転。

静寂。

主人 立て、立つんだ、ジョー。

赤犬、フラフラと立ち上がる。

赤犬 ……。

ホセ (レフェリー) オークー? ボックス。

メンドーサ、一気に間合いを詰めてくる。

主人 ガードだ、ガードを上げろ!

赤犬、言われるままにガードをあげる。

メンドーサ、がら空きのボディに一発。

赤犬 ぐえっ。

主人 馬鹿野郎、脇を締めろ。拳で顔面! 肘でボディをガードしろ!!

赤犬、言われるままにガードを固める。

主人 よし、いいぞ。その調子だ。足を使え、ガード、ガード、ガードだ。時間を

稼げ。とにかくこのラウンド、もう一発も貰うんじゃねえ、いいぞ、その調子だ、ジョー!

女主人 メンドーサ、あせらないで、じっくり崩して。

メンドーサ、軽いジャブで様子を見る。

赤犬、じりじりとコーナーへ追い詰められる。

女主人 今よ、ラッシュュ!!

メンドーサ、ラッシュュをかける。

赤犬、ガードの上から雨あられのようにパンチを浴びる。

主人 ジョー、ガードだ、ガードだ、ガードを上げろ、いや、下げろ、やっぱり上

げろ、下げながら上げろ。なんでもいいからとにかく守れ!!

赤犬、めった打ち。



赤犬、ボディからワンツールの見事なコンビネーションを食う。  
赤犬、たまらずダウン。

ホセ　　ダウン！　ワン、ツー、スリー、フォー、  
主人　　ジョー！！  
ホセ　　ファイブ、シックス、  
主人　　立て、立つんだジョー！！  
ホセ　　セブン、エイト、ナイン・・・

と、そこに犬人が戻ってくる。  
二人以外の時間が止まる。

静寂。

犬人　　もう死んだ？  
赤犬　　・・・  
犬人　　ねえ、もう死んだ？  
赤犬　　死んでねえ。  
犬人　　また轢かれたの？  
赤犬　　轢かれてねえよ。  
犬人　　じゃあ、どうして倒れてるの。  
赤犬　　殴られたんだよ。  
犬人　　闘犬なのに？  
赤犬　　ボクシングだから。  
犬人　　拳闘なの？  
赤犬　　・・・自分なりに頑張ったつもりなんだけど。  
犬人　　健闘したんだ。  
赤犬　　やっぱ、厳しいわ。  
犬人　　もう、諦めるの？  
赤犬　　足が動かねえ。立てねえよ。  
犬人　　もう、立てないの？  
赤犬　　・・・お前、誰だ？  
犬主人　　立ちなさい！！

静寂を破る怒声。  
赤犬、飛び起きる。  
犬人の姿はすでにない。

赤犬　　！！！！  
犬主人　　次、行くわよ。ホセ！  
ホセ　　くっ。

女主人      メンドーサ。  
メンド      へい。  
ホセ      そりゃあ、おとなしくしやがれ！！

ホセ、赤犬の後ろからいやらしく組みつく。

赤犬      うわあっつ、なんだ、やめろ、やめろ、コラ！

ホセ      へへへへ、おとなしくしろってんだよ、コラア。

赤犬      この変態野郎！！

ホセ      へへへへ、なんとでも言えええ。

赤犬      この男色、猥姦、変態性欲！！

ホセ、赤犬を四つん這いにさせる。

赤犬、貞操の危機。

赤犬      うわあ、堪忍してえ。おかーちゃん！！

と、メンドーサ、四つん這いの赤犬の腕に手を這わせる。

メンド      ひいふいみい・・・、

赤犬      うわ、うわあ、なんだその意味不明の行為は。離せ、離しやがれ、このアブ

ノーマルブラザーズが！！

ホセ      (意味不明) ♪ちやらっちやらっちやらっちやつ。

メンド      (意味不明) ♪ちやらっちやらっちやらっちやらちゃん。

二人、赤犬を解放。

ホセ、地べたに寝ころんで・・・

ホセ      踏め。

赤犬      なんだ？

ホセ      (潤んだ目で) 踏んでくれ。

赤犬      なんだ、俺にはそういう趣味はないぞ。

ホセ      踏め、踏め、踏めよおおおっつ！！

メンド      (赤犬の足を取って) 頼む、兄さんを踏んでやってくれ。

赤犬      断る。

メンド      (赤犬の足をホセに乗せて) まあ、そう言わずに。ググツと、グリグリつと。

赤犬      だからそういう趣味じゃあ・・・

女主人      踏みなさい！！

赤犬      (豹変) おおお、こうじゃ、こうじゃ、女王様とお呼びこの汚らわしい下僕が

あっつ！！

女主人　　ホセ、メンドーサ！

ホセ、メンドーサ、素早く女主人の下へ。

メンド　　報告します。肩高、2尺（60センチ）

女主人　　第二部、中型ね。

ホセ　　体重78キログラム。

女主人　　（溜息）第一部、大型。

女主人・ホセ・メンドーサ、冷笑。

赤犬　　何、どういうこと？

女主人　　身長はバンタム級だけど、体重はヘビー級ってことよ。

赤犬　　ってことは？

女主人　　ヘビー級でやるには、身長が足りないわけ。

赤犬　　ふんふん。

女主人　　バンタム級でやるには、体重が重すぎるわけ。

赤犬　　ふんふん。ってことは要するに

女主人#　　太りすぎなのよ、この（腹にパンチ）デブデブデブデブデブ！！

ホセ#　　デブーーーー！！

メンド#　　デブーーーー！！

赤犬　　いや、俺、そんなに太ってねえよ。

女主人　　問答無用。今日から早速減量よ。

赤犬　　減量って、俺、まだ今日の晩飯も食ってねえのに。あれ？　　そういえば、段

平どこ行ったんだ。

女主人　　こっちが聞きたいわよ。どこ行ったのよ、あのオッサン。

赤犬　　あんたも知らねえのかよ。

女主人　　ちよっと目を離れた隙にいらなくなったのよ。はい、これ。

赤犬　　なんだ？

赤犬、女主人から巻物のようなものを受け取る。

開くとそこには「がんばれ」とだけ書いてある。

赤犬　　なんだよこりゃあ。

女主人、巻物のもう1巻を開く。

そこには「よろしく」とだけ書いてある。

女主人　　困るのよ、こんなもん一つで押し付けられちゃあ。

赤犬　　俺に言われたって知るか。

ホセ お嬢さん、実は自分たちにもこんなものが。  
メンド こんなものが。

ホセ、巻物を開く。  
そこには「なかよし」とだけ書いてある。

ホセ これはどういうことでしょうか、仲良くしてくれってことでしょうか。

メンドーサ、巻物を開く。

そこには「りぼん」とだけ書いてある。

メンド わかんねえよ。なんだよ、これ。

赤犬 だから俺に言うなっていつてんだろ。きっとギャグのつもりなんだよ、段平  
メンド 頭おかしいんじゃないか、お前の主人。  
赤犬 確かに俺の主人はおかしいが、あんまり人の主人をおかしいおかしいうん  
じゃねえ。

メンド お前、日本語おかしいぞ。  
赤犬 おかしかねえさ。確かに俺の主人はおかしい。それは事実だ。しかし、事実  
とはいえ、どこの馬の骨とも知れねえようなやつに言われるのは腹が立つ。あ  
いつを○○だの拳キチだの言っているのは俺だけだ。

メンド ますますわかんねえよ、主人が主人なら犬も犬だな。  
女主人 やめなさい、メンドーサ。

メンドーサ、しぶしぶ引き下がる。

女主人 まあ、事の成り行きはともかく、寒空に放っておくわけにもいかないし、し  
ばらくの間だけ面倒みてあげるわ。それから一つ確認しておきたいんだけど。

赤犬 何？  
女主人 あなた、確か「何も教えてもらってない」って言ったわよね。  
赤犬 ああ。

女主人 本当に？  
赤犬 ああ。

女主人 だとしたら・・・  
赤犬 だとしたら、何だよ。

女主人 ひよっとしたら、才能があるのかもね。  
赤犬 才能って

女主人、強烈なボディブロー。

赤犬　ぐえっ。

女主人　ただし、この腹が引っ込めばね。さあ、始めるわよ。

女主人、構える。

女主人　明日のために、その1。

赤犬　なんだそりゃ。

女主人　・・・本当に何も教わってないのね。

赤犬　おう。

メンド　なっちゃんないね、兄さん。

ホセ　信じられないな、弟。

赤犬　んだと、コラ。

ホセ　そら、ジャブだ、ジャブだ、ジャブだ。

赤犬、ジャブを喰らう。

女主人　明日のために、その1。ジャブ。攻撃の突破口をひらくため、あるいは、敵の出足を止めるため左パンチを小刻みに打つこと。この際肘を左わきの下から離さぬ心構えでやや内角を狙いえぐりこむように打つべし。正確なジャブ三発に続く右パンチはその威力を三倍に増すものなり。

ホセ　左わき、えぐり込むように、打つべし、打つべし、打つべし。

赤犬　畜生、この野郎！

赤犬のがら空きになった顔面に右ストレートがヒット。

赤犬　ぐわあ！

女主人　明日のために、その2。右ストレート。左ジャブで敵の体勢を崩し突破口を見いだせば、すかさず右ストレートを打つべし。これ、拳闘の攻撃における基本なり。右ストレートは右拳に全体重をのせ、まっすぐ目標をぶち抜くように打つべし。この際、打ったコースと同じ線上を同じスピードで引き戻すこと。一発でKOを生む必殺パンチなり。

ホセ、ジャブ3発から右ストレートのコンビネーションを繰り返す。

ホセ　そーら、ジャブジャブジャブ、ストレート！　ジャブジャブジャブ、ストレート！！　交代だ、弟！

メンド　そーら、ジャブジャブジャブ、ストレート！　ジャブジャブジャブ、ストレート！！

赤犬　畜生、くらえコラアっつ！！

赤犬、メンドーサにパンチを打ち込むがクロスカウンターで返される。  
赤犬、たまらずダウン。

女主人

明日のために、その3。クロスカウンター。打たせて打つ。肉を切らせて骨を断つ相打ちの必殺パンチ。相手が全力でうちこんできたその腕に、十字型に交差させて全く同時に自分も打ち返す。ただでさえカウンターパンチは相手の勢いづいた出鼻を打つだけに、相手の突進プラス自分のパンチ力と威力は倍増する。ましてやクロスカウンターの威力は通常のパンチの3倍とも4倍とも言われる。

赤犬、なんとか立ち上がる。

女主人

明日のために、その4。

赤犬

まだあのか？

女主人

何？ もうギブアップなの？

赤犬

そうじゃないけどさ。

女主人

この程度、まだまだ序の口よ。いくわよ、明日のために、その4。手首のスナップ強化。強い手首はそれだけでパンチの威力を倍増させる。パンチ力を上げるためにはまず手首のスナップを強化すべし。

ホセ、メンドーサ、赤犬の腕をとり、自分の尻に挟む。

赤犬

のわあっつっ！ なにしやがんだ、この変態野郎！！

ホセ

上げろ。

赤犬

あ？

ホセ

持ち上げろ。

赤犬、頑張るが上がらない。

赤犬

できるわけねえだろ。

ホセ

できないわけねえだろ、なあ、弟。

メンド

ボクサーなら出来て当然なのにね、兄さん。

ホセ

ふん、所詮は雑種の駄犬か。

メンド

やめなよ、兄さん。血統書付きのチャンピオン犬の僕らと比べるのはかわい

そうだよ。

ホ・メ

ひーっひっひっひっ！！

赤犬

そんなに言うならお前、俺を上げてみろってんだ。

ホセ

お安い御用さ。

メンド

朝飯前だね。

ホセ

3日間絶食した後でも楽々だね。

赤犬 ぬかしやがったな、このブルジョワども！  
メンド 兄さん、下層労働者階級が何か吠えてるよ？  
ホセ はあ？ プロレタリアートがまたケンケン鳴いてるか？  
メンド 市民権って鳴いてるよ。  
ホセ 選挙権って鳴いてねえか？  
メンド 人権だってさ、兄さん。  
ホセ 生存権だとよ、弟。  
ホ・メ ひーっひっひっひ！！  
ホセ コラ、てめえ、ケンケンケンケン権利ばかり主張してんじゃねえ。義務でギユウギユウいわせんぞ。  
メンド 税でゼイゼイいわせんぞ。  
ホ・メ ひーっひっひっひ！！  
女主人 やめなさい、ホセ、メンドーサ！

ホセ、メンドーサ、表向き挑発をやめる。

女主人 次、行くわよ。明日のために、その・  
赤犬 畜生。なんなんだ、明日のために、明日のために。やってらんねえよ。そんなに明日が大事かよ。今日すらどうなるかわかんねえってのに、明日のことなんて考えてる余裕あんのか？  
メンド おいおい、ついに噛みついたよ、兄さん。  
ホセ 反抗的だな、弟。  
ホセ おい、てめえ。  
赤犬 何かな？  
ホセ 上げる。  
ホセ おええええ。  
赤犬 誰がボケろっていった。ゴタゴタ言っでねえで上げてみる、そら。

赤犬、ホセに詰め寄る。

赤犬 明日のために、その4。手首のスナップの強化、お前、それだけいうんなら、もちろん雑種の駄犬ごとき、軽々と持ち上げられるんだろ？ え、チャンピオン犬様よお？

赤犬、思いつき腰を落として踏ん張る。

ホセ 明日はしらないが、アスなら知ってるぜ。そら。

ホセ、赤犬の尻に指を突き立てる。  
飛び上がる赤犬。

赤犬  
ホセ  
メンド  
赤犬  
女主人

はうん！！  
ひーっひっひっひっ、どうだい弟。  
さすがだね、兄さん。  
畜生、品のねえ真似しやがって。  
いくわよ、明日のために、その5！！

音楽。

女主人

それから毎日、いつ果てるでもない特訓の日々が続いた。最初はいがみあつていたホセやメンドーサともすっかりうち解け、(3匹、うち解ける)時には共に笑い(3匹、いがみあう)、時には共に泣き(3匹、更にいがみあう)、時には肩を組み(3匹、まだまだいがみあう)、時には夜を徹して語り合い(3人、ひたすらいがみあう)時には喧嘩し、(3匹、大喧嘩)、そんな日々を過ぎしながら、私は彼からの連絡を待ちつづけた。丹下段平。かつては闘犬界一の名トレーナーと呼ばれた男。今や落ちぶれたとはいえ、彼ほどの男が育てようとした犬だ。きつとなにかがあるに違いない。たしかにあの時、何かの才能の欠片を見たような気はするのだけれど、いまだそれは形有るものにはなっていない。言うなれば、漠然とした期待感のようなものだけだった。

女主人、退場。

赤犬

あれから毎日、いつ果てるでもない特訓の日々が続いた。おかげで俺の腹は、どこかの通販の宣伝のようにみるみる凹んでいった。青白い貧弱な坊やだった俺が、みるみるあいだに魅惑のムキムキボディに大変身だ。明日のために、明日のために、そういいながら、やってきた明日という日にはやっぱりなにもなく、また明日のために練習を続けるだけだ。終わりなき日常ってやっぴに反吐がでそうだ。いったいいつまでこうしてりゃいいんだ。なあ、段平。

赤犬、退場。

ホセ  
メンド  
ホセ  
メンド  
ホセ  
メンド  
ホセ  
メンド  
ホセ

あれから毎日、新しいびりの毎日だ。  
自分より能力の劣るヤツをいびりぬく、たまらない快感だ。  
一丁前に体だけではできてきたようだが  
パンチは相変わらずのヘナチョコ振り。  
どこからみても才能の欠片もみあたらない。  
どうしてお嬢さんはこんなやつに才能があるなんていうのか  
まったく理解しかねる。  
とはいえ、ご主人様の命令だ。  
嫌々ながらに今日も相手をしてやるしかない。



メンド  
ホセ

ロードワークの時間だよ。行こうか、兄さん。  
ああ、行くぞ、弟。

ホセ、メンドーサ、ロードワークに出る。

溶暗。

溶明。

地面に転がる主人。

そのかたわらに立つ、一人の女。

その手には、一本の紐。

犬  
人

夜の公園で、死んだ犬をみえた。犬の中にも賢いやつとそうでないやつがいて、そうでないやつはだいたいこうなる。まず、ノラのくせに人に媚びないヤツがこうなって、次に媚びる相手を間違ったやつがこうなる。うまく媚び続けていても、結局こうなるヤツもいる。ノラはノラだからノラ。媚びようが、媚びまいが、結果同じく道に倒れ伏す運命がノラ。主人を持たないからノラ。じゃあ、犬を飼っていない主人って何？ それはそもそも主人？ 何かの主だから主人。なんの主でもなければただの人。線を一本引けば「犬」。点を一個打てば「犬」。人と犬との違いなんて、多分そんなもの。

主人、気がつく。

犬  
人

あ、生きかえった。

犬  
人

死んでない。だから生きかえってもない。

犬  
人

同じ事言うね。

犬  
人

何がだ、お嬢ちゃん？

犬  
人

「死んでない。だから生きかえってもない」って。

犬  
人

誰かが言ってたかい？

犬  
人

ジョー。

犬  
人

知ってるのか。

犬  
人

うん。

犬  
人

そうか、そうかそうか。ジョーを知ってるのか。

犬  
人

どうして迎えに行かないの？

犬  
人

そんなことまで知ってるのか。

犬  
人

どうして？

犬  
人

まあ、その時が来たら、な。

犬  
人

まだ早いつてこと？

犬  
人

まあ、そういうことかな。

犬  
人

分かるの？ 見てないのに。

犬  
人

分かるさ、見て無くても。

犬  
人

本当に？

犬  
人

ああ・・・ところで、お嬢ちゃん、何か食べる物、持ってないかい。

犬  
人

お腹、すいてるの？

犬  
人

恥ずかしながら。

犬人

どれぐらいすいてるの。

主人

賞味期限を10日過ぎた牛乳でも平気で飲めそうならいかな。

犬人

わかんない。

主人

んー、それじゃあ、冷蔵庫のすみで、漬物にしてないのに漬物みたいになつてたナスビでもガツガツ食べるぐらいかな。

犬人

ますますわかんない。

主人

とにかく、かなりすいてる。

犬人

私も。

主人

え？

犬人

私もかなりすいてる。例えるなら、真夏のゲレンデ。

主人

そりやすいてるな。

犬人

真冬の湘南海岸。

主人

ガラガラだな。

犬人

平日の三井グリーンランド。

主人

それは許してやれ。

犬人

(何かヤバいことを言う) 来月の博多座。

主人

シーーーーーッ！！！！

犬人

何か食べる物持っていない？

主人

持ってたら人には聞かないだろ。

犬人

そうだね。

主人

腹減ったなあ。

犬人

(ヒモ) これとかどうかな。

主人

いざとなったら革靴とかは食べるらしいけどなあ。

犬人

駄目かな。

主人

何もないよりはマシだろうけど。

犬人

ごみ箱でも探す？

主人

そうだな。

犬人

(ぐるりと見渡して) ないね。

主人

ないか。

犬人

どこかほかのところに行く？

主人

行ったところであるのかどうか。

犬人

そう思うからどこにも行けないんじゃないの？

主人

厳しいね、お嬢ちゃん。

犬人

そうかな。

主人

でも現実ってやつはもつと厳しいんだ。ここに無いものは、よそにもない。

犬人

今日ここに無いものは、きっと明日もここにない。

主人

そうなの？

犬人

昔はそうでもなかったがね。明日という日は「明るい日と書く」なんて言っ

主人

たもんだ。「明日はきつと何かある」ってな。今じゃあ明日という日は「明け

犬人

ない日と書く」のが正解さ。いつまで待ってもやってこない日。今日ここに無

犬 人  
主 人  
いものは、きっと明日もここにはない。どっちにしても無いのなら、ここで静かに待ち続けるのが一番楽ってもんなのさ。

犬 人  
主 人  
そうかなあ。

犬 人  
主 人  
お嬢ちゃんはまだ若いからな。人間、年を食って、いろんな荷物を背負っちゃうと、なかなか思うようにはできないもんなのさ。

犬 人  
主 人  
何か探してこようか？ あ、でもやっぱり駄目。

犬 人  
主 人  
どうしたね。

犬 人  
主 人  
待ってなきや。

犬 人  
主 人  
誰をだい？

犬 人  
主 人  
ゴドー。嘘です。

犬 人  
主 人  
誰だい、それ。

犬 人  
主 人  
嘘だから、気にしないでください。

犬 人  
主 人  
本当は？

犬 人  
主 人  
誰かを。っていうか、そもそも待ってるのは人？ 人？ 自信ない。

犬 人  
主 人  
これはヒモ。ヒモ、ヒモ、ヒモ。ヒモっぽいといえば、坂本ちゃん。でもヤツはホモ、ホモ、ホモ。これはヒモ。なんのヒモ？ ねえ、おじさん、これなんだと思う。

犬 人  
主 人  
リードだな。

犬 人  
主 人  
ヒモじゃなくて？

犬 人  
主 人  
ヒモだよ。

犬 人  
主 人  
リードじゃないの？

犬 人  
主 人  
ヒモの中でもリードっていう種類のヒモなんだ。

犬 人  
主 人  
種類？

犬 人  
主 人  
犬につけるヒモのことさ。

犬 人  
主 人  
どうしてわかるの？

犬 人  
主 人  
ほら、こっちの端が結んであるだろ。飼い主の手からリードがすり抜けられないように、コブを作っているのさ。

犬 人  
主 人  
要するに鎖のこと？

犬 人  
主 人  
それは違うぞ。鎖とリードはまるで違う。

犬 人  
主 人  
鎖は金属だもんね。

犬 人  
主 人  
ま、それもあるが、それだけじゃない。

犬 人  
主 人  
鎖は漢字だけど、リードはカタカナ

犬 人  
主 人  
そういうことでもないんだな。

犬 人  
主 人  
鎖は日本語だけど、リードは英語

犬 人  
主 人  
それも違う。

犬 人  
主 人  
どっちも三文字だね。

犬 人  
主 人  
そうだな。

犬 人  
主 人  
鎖とリードって、しりとりで続くね。

犬 人  
主 人  
そうだな。

犬 人  
主 人  
おじさん、「ど」からね。

主人 ドーナッツ

犬人 ツンドラ

主人 ラード

犬人 どんでんがえし

主人 しめ鯖寿司

犬人 宍戸錠

主人 うにめし

犬人 宍戸開

主人 ……いつの間にしりとりが始まってたんだ。

犬人 だ、だ、ダビデ。

主人 でも鎖とリードは違う、全く違うんだよ。

犬人 よくわかんない。

主人 いいかい、お嬢ちゃん。鎖っていうのは、犬を同じところに縛り付けておく

ためのものなんだ。だが、リードってやつは、犬をどこかに連れて行く時に使

うもんだ。文字通り、犬をリードするために使うもんなんだ。だから鎖とリー

ドは違う。断じて違うんだ。

犬人 だ、だ、（飽きた）ダルメシアン。しりとり終わり〜。

主人 まだ続けてたのか。

犬人 おじさん、詳しいね、ヒモのこと。

主人 いや、そんなこたあないさ。

犬人 ひよっとしてヒモのプロ？

主人 いやいや。

犬人 わかった。おじさん、犬なんだね。

主人 なんでそうなるんだ。

主人、空腹のあまり目眩を起こして座り込む。

主人 腹、減ったなあ。

犬人 減ったね。

主人 何かないもんなあ。

犬人、あたりをもう一度よく見て……

犬人 あ。

犬人、本を一冊持って戻ってくる。

「あしたのジョー愛蔵版」

犬人 これなんかどうだろ？

主人 それは、食べられないだろ。

犬 人  
ブックオフ。

犬 人  
主人

本を売って、それで食べ物を買えばいいんだよ。  
・・・その通りだ。切羽詰まると、目の前のことしか見えなくなる。落ちぶれたもんだ。ストレートを決めるためには、ジャブを打て。ジャブを打つにはフットワークを使えってなあ。その通りだ。その通りだよ、お嬢ちゃん。

静かな間。

主人  
・・・さあ、行こうか。

犬 人  
ブックオフ？

主人  
ジョーのところかさ。

犬 人  
でも。

主人  
でも、なんだい？

犬 人  
待ってなきや。

主人  
何をだい。

犬 人  
何かを。

主人、犬人のリードを手にし、自分の首に回す。

主人  
これで、どうだい？

犬 人  
おじさん。

主人  
ワン。

犬 人  
おじさん。

主人  
俺のことは段平って呼んでくれ。さあ、行くぞ、白木ボクシングジムは3丁目  
の三十三の十四だ。道案内は俺に任せとけ。

犬 人  
いくよ、段平！

犬人、主人、駆け出す。

入れ違いに、一人に男が走ってくる。

男、屋台のうどん屋（ホセ）に駆け寄り・・・

赤 犬  
はあはあ

ホセ  
らっしやーい。

赤 犬  
おっさん、うどんかけ2杯や。大至急こさえてくんははれ。

ホセ  
へいまいどあり。

うどん屋、すばやく麺を茹でる。

うどん屋、どんぶりを差しだして・・・

ホセ へいおまちどお。

赤犬 うう、(箸を割る)こ、このにおいや。たまらん。ズルズル、フーツ、ズルズル、ハーツ

と、そこに女主人登場。

赤犬 うっ。

女主人 こんな夜中に抜け出してどこへ行くのかと思ったら・・・夜食食べにきたの？

ホセ へえ、らっしやい。お客さんにもおつくりしましようか？

女主人 いいえ、私はいりませんが・・・この人、時々ここへきてるんですか？

ホセ へえ、ちよくちよく。いつもいまごろの時刻に。

女主人、うどん中の赤犬のボディに一発。

赤犬 (うどんを吹き出す) あぶっ！！

ホセ ひえー。

赤犬 うっ、うぐっ

女主人 こんなところを見たくなかったわ。ぶざまね。みじめね。ジョー。

赤犬、鼻からうどんを出しながら・・・

赤犬 わいはあかん。駄目な男や。・・・ってどういう意味があるんだよ、この練習！！ だいたいなんで突然大阪弁になるんだよ。わかんねえ、全然わかんねえよ、畜生。

女主人 明日のために、その627。減量苦の時のためのイメージトレーニングよ。

減量に耐えられずに、思わず何かを口にしてしまいそうになった時、この屈辱を思い出してこらえるのよ。名付けて、みるみる痩せる、マンモス西式ダイエット。

赤犬 やってられるか！！

女主人 いくわよ、次！ 明日のために、その628、お辞儀の仕方。おじぎの角度は「真・行・草」の三つに分けられます。お詫びや見送りの時には角度は四十五度の「真」。お出迎えの時などには角度三十度の「行」。会釈の時には角度十五度の「草」。いずれの場合も心をこめて、丁寧な動作で行うべし。

ホセ 申し訳ありませんでしたっ！！

ホメ赤 (四十五度) 申し訳ありませんでしたっ！！

女主人 ジョー、もつと深く。

赤犬 申し訳ありませんでしたっ！！

女主人 背筋を伸ばして！

赤犬 申し訳ありませんでしたっ！！

女主人

心を込めて！！

赤犬

申し訳ありませんでしたっ！！

女主人

顔を上げるときに目をそらさない！！

赤犬

申し訳ありませんでしたっ！！

女主人

よし。はい、次

メンド

いらっしやいませ！！

ホメ赤

(三十度) いらっしやいませ！！

女主人

ジョー、こんどは深すぎ。

赤犬

いらっしやいませ！！

女主人

浅い。

赤犬

いらっしやいませ！！

女主人

深い。

赤犬

いらっしやいませ！！

女主人

浅い。

赤犬

いらっしやいませ！！

女主人

深い。

赤犬

(ぴったり三十度) どうしろってんだ！！

女主人

やればできるじゃない。

赤犬

闘犬となんの関係があるんだ、この練習。俺にファミレスでバイトでもさせる気か！！

女主人

それもいいわね。

赤犬

なんだと？

女主人

冗談よ。闘犬以前の社会的常識の問題よ。あなた、一生闘犬やってる気？

それとも毎日野球漬けの高校球児？ 野球をとっただの勉強ができないマ  
ルコメくん？ そうなりたくなかったら、少しは本業以外の常識も知っておく  
必要があるんじゃないか？

赤犬

あいにくと俺の体は常識と良識でできてんだ。そんなもん、今更練習する必  
要ないね。

そう。じゃあ、明日のために、その629。名刺の渡し方。やってみて。

赤犬

名刺？

女主人

出来るんでしょう？ ほら、これでやってみせて。

女主人、名刺入れを赤犬に渡す。

赤犬

ほらよ。

赤犬、片手で名刺を2枚放り出す。

ホセ

この

メンド

ヴォケ



ホ・メ　　がー！！！！！！

ホセ、メンドーサのダブルクロスパンチ。  
吹っ飛ぶ赤犬。

ホセ　　貴様、逝ってヨシ。  
メンド　あぼーんだ、コラ。  
女主人　今の、まさか本気じゃないでしょうね。  
赤犬　　こんなもん、渡せばいいだけだろうがよ。  
ホセ　　この  
メンド　ボケ  
女主人　ナス  
ホメ女　　がー！！！！！！

ホセ、メンドーサ、女主人のトリプルクロスパンチ。  
吹っ飛ぶ赤犬。  
　　三人、赤犬を引き起こして

ホセ　　この  
メンド　甲  
女主人　殻  
ホセ　　類  
メンド　の  
女主人　ミジ  
ホセ　　ンコ  
メンド　なみ  
女主人　の  
ホセ　　低  
メンド　脳  
ホメ女　　がー！！！！！！

ホセ、メンドーサ、女主人のトリプルクロスパンチ。  
吹っ飛ぶ赤犬。

ホセ　　要点1、目下の人から先に渡します。  
メンド　要点2、相手が文字を読めるよう、相手に向けて渡します。  
ホセ　　要点3、親指と人指し指でつままず、指をそろえて名刺を持ちます。渡す時  
　　には両手で。  
メンド　要点4、相手と同時に交換する時は、右手で渡します。  
ホセ　　要点5、名刺を交換する時は、胸の高さで行います。

メンド 要点6、名刺を差し出ししながら、社名、名前をハッキリ相手に聞こえるように名乗ります。

ホセ 要点7、相手が複数である時は、ひとりひとりに名刺を渡します。

ホ・メ# 全然できとらんやんけー!!!

女主人# 全然できないじゃない!!!

赤犬 できなかったからってなんだよ。明日のことさえ分からないのに、その先のことなんて知るか。

メンド こいつ開き直ったよ、兄さん。

ホセ 居直りやがったな、駄犬が!!!

一触即発の雰囲気。

と、そこに大人の声が響く。

犬人 こんばんわー。

女主人 こんな時間に・・・どちら様です？

犬人 道場破りでーす。

犬人、扉を蹴破り入ってくる。

犬人、段平、ともに覆面で顔を隠している。

女主人 なんですか？

犬人 看板いただきにきましたー。

女主人 道場破りとはまた古めかしいこと。

メンド ひーっひっひっひっ、聞いたかい？ 道場破りだってよ、兄さん。

ホセ 聞いたぜ弟、破れるもんなら破ってもらいたいもんだな、弟。

ホ・メ ひーっひっひっひっ!!!

犬人 このジムで一番強い犬は誰？

ホセ、歩み出ようとするが、メンドーサがそれを制する。

メンド 兄さん、兄さんが出る必要はないよ。僕が相手しておくからさ。兄さんは奥

でワンダフルでも見えて待っててよ。

ホセ そうか、悪いな弟。

犬人 あんたなの？

メンド お相手しましょう。

女主人 メンドーサ、気をつけなさい、そいつは

言うが早いか主人の強烈なボディへのパンチが炸裂する。

メンド ごぼっっ!!!

女主人　　メンドーサ！！  
ホセ　　弟！！  
メンド　　・・・兄さん、気をつけて。こいつ、強いよ。

メンドーサ、ノックアウト。

ホセ　　弟ー！！　畜生、よくも俺のワンギヤルタイムを邪魔して・・・じゃねえ、よくも俺の弟に痛い目みせてくれやがったな！！

ホセ、突進。

めくらめつぼうにパンチを繰り返す。  
主人、そのパンチをことごとくかわす。

女主人　　落ち着きなさい、ホセ。一旦下がって！！  
ホセ　　分かってまさあ、お嬢さん。

その一瞬の隙について主人の右フックが炸裂。  
そのままコンビネーションパンチを一方的に食らう。  
もんどりうって倒れるメンドーサ。  
ホセ、メンドーサのところまでなんとか這っていき・・・

ホセ　　弟、弟よ、一緒にトウナイト2、見ような。（倒れる）

ホセ、ノックアウト。

犬　　もうおしまい？  
女主人　　ジョー！！  
赤　犬　　無理だ、俺には絶対無理だ。  
女主人　　行きなさい、ジョー  
赤　犬　　俺よりあんたの方が強いだろ。パスパスパス。君子危うきに近寄らず。  
女主人　　あなたがやりたくなくても、あっちがやりたがってるようよ。

主人、ファイティングポーズ。  
赤犬、ダッシュで逃げ出そうとするが、主人の見事なフットワークに阻まれる。

女主人　　・・・あなた、丹下段平でしょ。  
赤　犬　　え？  
主人　　相変わらず、いい逃げ足だな、ジョー。  
赤　犬　　段平！？

主人、覆面を取る。

女主人

やっぱり。

主人

やれやれ、お見通しかい。

女主人

相変わらず見事なパンチね。トレーナーやめて、現役に復帰したら？

赤犬

段平くやっとなんて迎えに来たのか、段平く。

赤犬、主人に抱きつく。

主人、赤犬にボディブロー。

赤犬

ぐえっつ。何すんだよ、冗談きついで、段平。

主人

迎えに来たんじゃねえ。試しにきたんだ。

赤犬

試すって。

主人

お前が強くなったかどうかさ。

主人、パンチ一閃。

赤犬、すれすれでそれをかわす。

赤犬

おい、やめるよ、やめろってば、なあ、段平。おい、ご主人様よう。

主人

悪いが今はお前の主人じゃない。なにしろ、こちらのお嬢さんの犬なんですね。

赤犬

お嬢さん？・・・あ、お前はドン松五郎。

犬人

いーやー。

赤犬

じゃなくて、名無しの変な女。

主人

そら、よそ見してる場合じゃないぞ。

主人、連続でパンチを打ち込む。

犬人

ごぶたさしてます。ごぶさたしてます。ごぶたさ？　ごぶさた？　正しいのはどっち？

女主人

ご無沙汰よ。

犬人

ご親切にありがとうございます。

女主人

どういたしまして。

犬人

でも看板はもらっています。

女主人

それはちよつと気が早いんじゃないかって？

女主人、リングの方へ視線を移す。

ひたすらに主人のパンチをよけ続ける赤犬。

主人

そうだ、いいぞ、逃げろ、逃げろ、どんどん逃げろ。よけろ、かわせ、逃げ

女主人  
まくれ。ガードだ、スウエイだ、ダッキングだ！！  
ジョー、反撃よ！

赤犬、反撃せずに、主人の攻撃をただ避け続ける。

女主人  
どうしたの、ジョー！  
主人  
いいんだ、それでいいんだ、ジョー。打つな、守れ、ガードしろ。守って守って、ひたすら耐えろ。それがお前の才能だ！！

女主人  
滅茶苦茶よ。攻めなければ勝てない。当たり前のことでしょう。ジョー、反撃よ、打ちなさい、打つよ、ジョー！！

主人  
打つな、打つんじゃない、ジョー！！ 専守防衛だ！！

女主人  
先手必勝よ！！

赤犬  
黙ってる！！ ガタガタうるせえんだ、戦ってるのはこっちなんだ・・・

突如、銃声が響き渡る。

赤犬、静かに胸のあたりを押さえ・・・

赤犬  
見ろよ、ざまあねえなあ。

赤犬、倒れる。

薄明かりの下、赤犬の姿だけが照らし出される。  
ボソボソと、何者かの声。

ホセ  
経ケン不足ですな。

メンド  
やはり非武装での派ケンには無理があつたのでは？

主人  
ご意ケンはごもつともですが

女主人  
だからといって、出さないと言うのも沽ケンに関わる。

主人  
まあ、こういうのは保ケンみたいなんですから。

メンド  
しかし、事ケンになってしまつてはねえ。

ホセ  
ちよつと冒ケンしすぎたんじゃないかね。

メンド  
世ケンの目もあることだし。

ホセ  
もう少し穏ケンにいけないものかね。

メンド  
いくらなんでも危ケンだろ。

ホセ  
安全ケンだけで活動するとかできないものかね。

メンド  
なんといつても我々の政ケンのアキレスケンだからね。

ホセ  
陰ケンな連中が、揚げ足取ろうとウヨウヨしてるわけだから。

メンド  
ケン疑をかけられたりしたらたまつたもんじゃない。

女主人  
念のために、関係業界からのケン金のメモについては処分しました。後は彼

のことが露ケンしないことを祈るのみです。表向きは行方不明ということだけで統一ケン解としましょう。

主人　それでは本ケンに関しては、極秘事項ということで。

どこからかダウンカウントが聞こえてくる。

赤犬　（倒れたまま）ここはどこだ。国道か、公園か？・・・歓声が聞こえる。そ

うか、格闘技の殿堂、後樂園ホールか。

犬人　聞こえるのは銃声。ここは国境。

赤犬　俺はどうして倒れてるんだ。

犬人　うたれたから。

赤犬　パンチか。

犬人　銃で。

赤犬　犬なのに？

犬人　犬じゃないから。

赤犬　ボクサーなのにな？

犬人　兵士だから。

音楽。

女主人　一匹の犬は唄った。「友よ、夜明け前の闇の中で、友よ、闘いの炎を燃やせ」

一匹の犬は書き殴った。「生きてる　生きてる　生きてる　今や青春の中に  
生きている」一匹の犬は言った。「我々は明日のジョーである」

そして犬たちはそれぞれに旅立ち、そして二度と帰ってはこなかった。

彼らは今日と違うはずの明日を求めて、そして、傷つき、敗れた。

明日のために。未来のために。明るい未来のために。そんな一昔前の寓話。

明日はきつと今日と変わらず、日々沈みゆく世界をうつろな目の端にとらえ  
ながら、ゆるやかなノックアウトへの道を辿っていく。

犬人　ねえ、もう死んだ？

赤犬　死んでねえ。

人々、赤犬と犬人の周りの杭にヒモを回し、徐々に隔離しようとする。

それはまるでリングのように、赤犬と外界を分け隔てる。

赤犬、ロープをつかんで立ち上がろうとする。

赤犬　燃え尽きたいんだ。ぶすぶすとそこらにある見てくれだけの不完全燃焼とは

訳がちがう。ほんの瞬間にせよ、眩しい程に真っ赤に燃え上がるんだ。

そして：後には真っ白な灰だけが残る・・・燃えカスなんか残りやしない。

真っ白な：灰だけだ。そんな充実感・・・いったい、どこにあるんだ。なあ、

明日はどっちだ。教えてくれよ。俺、犬だから自分じゃ決められないんだよ。

誰かがあっちゃって言うてくれれば、馬鹿みたいに一直線に突っ走っていくからさ。なあ、  
ご主人様よう。

ホセ	機密費問題
主人	調査を指示します。
メンド	狂牛病問題
女主人	前向きに善処します。
ホセ	牛肉産地偽装
主人	調査を指示します。
メンド	公的資金注入
女主人	前向きに善処します。
ホセ	血友病問題
主人	調査を指示します。
メンド	省庁再編
女主人	前向きに善処します。
ホセ	ムネオハウス。
主人	調査を指示します。
メンド	ムネオカー。
女主人	前向きに善処します。
ホセ	薬害エイズ
主人	まことに遺憾であります。
メンド	組織防衛
女主人	大変残念なことです。
ホセ	政治のための政治
主人	まことに遺憾であります。
メンド	J2降格
女主人	大変残念なことです。
ホセ	官僚の天下り
主人	まことに遺憾であります。
メンド	ノンキャリアの不祥事
女主人	大変残念なことです。
ホセ	デフレスパイラル
主人	まことに遺憾であります。
メンド	失業率の増加
女主人	大変残念なことです。
ホセ	公団の不正経理
主人	まことに遺憾であります。
メンド	消費不況
女主人	大変残念なことです。
ホセ	靖国参拝
主人	まことに遺憾であります。
メンド	海外派兵
女主人	大変残念なことです。

ホセ 京都議定書  
主人 まことに遺憾であります。  
メンド 偽装船問題  
女主人 大変残念なことです。  
ホセ リストラされました。  
主人 まことに遺憾であります。  
メンド バイト先、クビになりました。  
女主人 大変残念なことです。  
ホセ 家のローンが払えません。  
主人 まことに遺憾であります。  
メンド 家賃を3ヶ月滞納しています。  
女主人 大変残念なことです。  
ホセ ゼビウスでアンドアジェネシスが倒せません。  
主人 まことに遺憾であります。  
メンド ゼビウスのバキュラが壊せません。  
女主人 大変残念なことです。  
ホセ はじめの1円玉みたいなヤツにやられました。  
主人 まことに遺憾であります。  
メンド タルケンに後ろから撃たれました。  
女主人 大変残念なことです。

人々、ニュースを賑わす不景気や個人的な愚痴を吐き出し続ける。

それにひたすらに「遺憾です」「残念です」と繰り返す主人と女主人。

赤犬 なあ、俺のせいなのか？ それともお前のせいなのか？ どっちなんだ？  
なあ、ご主人様よお！！！！

「ブツツ」と電話の断線音。

ツー、ツーとむなしく電子音が響く。

犬人、ロープの隙間からリングの外に這い出す。

しかし、赤犬は首のリードが邪魔をして、どうにもならない。

もはや脱出不可能なほどに縄がグルグルと巻かれていく。

赤犬 もしもし。

その呼びかけに答える声はない。

それでも黙々と、語りかける赤犬。

赤犬 もしもし。



返答はない。

赤犬

もしも。・・・もしも、もうあなたがどこにもいないのなら、この首に繋がれたリードは、もはやただの鎖だ。俺をこの場所に縛り付けて離さない。どこにいますか。まだ生きていますか。せめて返事をください。もしも、もうあなたがどこにもいないのなら・・・自由を。重すぎる責任をその肩に、引き替えにしてでも自由を。もしもし、聞こえますか、もしもし、まだ生きていますか。もしもし、明日はどっちですか！！

いつの間にか、犬人以外の姿は跡形もない。

犬人

なおざりとおざなり、正しいのはどっち？ 正解はどっちも正しい。おざなりとは、その場のがれにいいかげんに物事をする様。なおざりとは、あまり注意をしない様、いい加減にする様。でもどっちも正しくない。

じゃあ、なおざりと置き去り、正しいのはどっち？ 正解は・・・

空爆の轟音。

犬人、空を見上げる。

暗転。

赤犬、大人の立っていた場所に一人。  
鎖が邪魔をして、どこにも行けない。  
やがて、あきらめ、床に転がる赤犬。  
どこからか、ダウンカウントが聞こえてくる。

(声) 立て、立つんだ、ジョー！！

赤犬 ！？

赤犬、飛び起きる。

そして自らのヒモを引き抜こうともがく。

赤犬

絡み合った関係性。絶望的に積み上げられた、再構築不可能な砂上の楼閣。  
理想の指導者、理想の上司、理想の教師、理想の政治、待っていたのはそんな  
あり得ない夢幻。そして今日も君は僕にこうたずねる。ねえ、もう死んだ？  
生きてもないのに、どうして死ねる。燃えてもないのに、どうして灰になれる。  
燃えよ、静かに。しかし、確かに。立ち上がれ、燃え尽きるまで。そしていつ  
か。そしていつか、いつの日かの明日こそ、真っ白な灰に！！

ついにヒモが杭から外れる。

赤犬、そのリードの端を、自らの手にする。

勝利したボクサーのように、両方の拳を天に突き上げる赤犬。

やがて、暗転。

(幕)

脚本執筆に際し、下記の文献を参考にしました。

あしたのジョー 高森朝雄・ちばてつや 集英社